

NoBuNaGa Type2

取扱説明書

<通常操作表示>

◆**電源投入確認**..バッテリーを接続したとき、LEDが「水色→紫色→黄色」を0.5秒間隔で点灯してから消灯します。

◆**ボルトストップ表示**..ボルトストップが作動しているとき、LED(黄色)が点灯し続けます。

※セクターが【SAFE】—にあってもボルトストップが作動していればLED(黄色)が点灯し続けるバッテリーが接続されているときは、ボルトストップを解除してください。

◆【SEMI】状態表示

1. セクターを【SAFE】から【SEMI】に切り替えたとき、【SEMI】の現在の設定(セミオート:緑、3点バースト:紫)LEDが0.2秒間点灯します。
2. セクターを【AUTO】から【SEMI】に切り替えたとき【SEMI】の現在の設定(セミオート:緑、3点バースト:紫)LEDが0.2秒間点灯します。

◆【AURO】状態設定

1. セクターを【SAFE】から【AUTO】に切り替えたとき、【AUTO】の洗剤の設定(フルオート:青、3点バースト:紫)LEDが0.2秒間点灯します。
2. セクターを【SEMI】から【AUTO】に切り替えたとき【AUTO】の現在の設定(フルオート:青、3点バースト:紫)LEDが0.2秒間点灯します。

◆エラー表示

◆トリガーを引いてから0.5秒間タペットスイッチの入力がない(ピストンもしくはタペットプレートが動いていない)場合、エラー処理として下記の動作をします。

1. モーター出力の停止(モーターへの電力供給の停止)
2. 赤LEDの点灯 ※エラー処理の解除は、バッテリーを接続し直すと解除されます。

※エラー表示が発生した場合、致命的な故障が発生していると予想されます。修理と行って下さい。

NoBuNaGa Type2

動作説明書

<動作の種類>

動作1 セミオート(トリガースイッチ入力1回につき 1発のみ発射)【緑LED】

動作2 3点バースト(トリガースイッチ入力1回につき 3発発射)【紫LED】

動作3 フルオート(トリガースイッチ入力が入っている間、発射し続ける)【青LED】

※設定により、下記の様に3点バースト設定を自由に設定できます。

※ボルトストップ機能は純正同様に動作します。【黄色LED】

<設定のバリエーション>

設定1 【SEMI】セミオート/【AUTO】フルオート

設定2 【SEMI】セミオート/【AUTO】3点バースト

設定3 【SEMI】3点バースト/【AUTO】フルオート

設定4 【SEMI】3点バースト/【AUTO】3点バースト

※【SEMI】はフルオートになりません。【AUTO】はセミオートになりません。

<その他注意事項>

1. ピストン位置制御はしません。(後退保持設定なし)
2. 過電流保護のためヒューズをつけてください(25A推奨)
3. ピストンを最前進位置に移動する解除機能はありません。
4. 雨天使用時等、水にぬれた場合、誤動作や故障の原因になります。

<仕様>

- ◆ 絶対最大定格入力電圧:DC15V
- ◆ 絶対最大出力電流(連続):90A
- ◆ 絶対最大出力電流(瞬間):200A

NoBuNaGa Type2

セレクトター設定方法①

<セレクトターの【SEMI】を3点バーストに設定>

- ① セレクトターを【AUTO】にし、バッテリーを接続。
→LEDが「水色→紫色→黄色」と0.5秒間隔で点灯。
- ② LEDが「赤色」点滅(0.2秒間隔)。
- ③ セレクトターを【SAFE】にする。←ここから設定が有効になります。
- ④ セレクトターを【SEMI】にすると、現在の設定を表示。
セミオート:「緑色」点滅(0.2秒間隔) 3点バースト「紫色」点滅(0.2秒間隔)
- ⑤ トリガーを引くごとにセミオートと3点バーストが切り替わります。
- ⑥ 3点バースト:「紫色」点滅(0.2秒間隔)を選び、セレクトターを【SAFE】にします。
- ⑦ LEDが「赤色」点滅を2回した後、点灯(0.5秒)して設定完了。
→その後通常通り射撃可能

※セレクトターを【SAFE】から【SEMI】や【AUTO】に切り替えたとき、設定の表示(セミオート、3点バースト、フルオート)をLED(緑、紫、青)を0.2秒点灯します。その間のトリガー入力は無効です。

※【SEMI】をセミオートに戻すときは、⑥の操作でセミオート(緑色)を選択してください。

※【SEMI】をフルオートにすることはできません。

NoBuNaGa Type2

セレクトター設定方法②

＜セレクトターの【AUTO】を3点バーストに設定＞

①セレクトターを【AUTO】にし、バッテリーを接続。

→LEDが「水色→紫色→黄色」と0.5秒間隔で点灯。

②LEDが「赤色」点滅(0.2秒間隔)。

③セレクトターを【SAFE】にする。←ここから設定が有効になります。

④セレクトターを【AUTO】にすると、現在の設定を表示。

フルオート:「青色」点滅(0.2秒間隔) 3点バースト「紫色」点滅(0.2秒間隔)

⑤トリガーを引くごとにフルオートと3点バーストが切り替わります。

⑥3点バースト:「紫色」点滅(0.2秒間隔)を選び、セレクトターを【SAFE】にします。

⑦LEDが「赤色」点滅を2回した後、点灯(0.5秒)して設定完了。

→その後通常通り射撃可能

※セレクトターを【SAFE】から【SEMI】や【AUTO】に切り替えたとき、設定の表示(セミオート、3点バースト、フルオート)をLED(緑、紫、青)を0.2秒点灯します。その間のトリガー入力は無効です。

※【AUTO】をフルオートに戻すときは、⑥の操作でフルオート(青色)を選択してください。

※【AUTO】をセミオートにすることはできません。

NoBuNaGa Type2

製作・企画・販売 エアガンドクター チームシックス

〒458-0902

愛知県名古屋市緑区有松三丁目204 モジュールH 1A

公式LINE <https://lin.ee/ZoBJsoP> ✉team6.frogman@gmail.com

NoBuNaGa Type2

取付方法 (M4/HK416後方配線)

【メカボックスの取り外し編】

1. ストック、アッパーレシーバーの取り外し (アッパーストップパーセット紛失に注意)
2. ダミーボルト、チャージングハンドル、ボルトパーツの取り外し
3. バッファークューブのコードカバー・コード押さえの取り外し (コードカバーのネジの滑りに注意)
4. バッテリー端子と配線の取り外し (ハンダを外す)
5. バッファールングを緩める
6. バッファア、バッファールングから配線を引き抜く
7. 配線がフリーになったら、バッファークューブを緩め取り除く
8. ピストルグリップエンドのネジ2本を緩め取る
9. モーター端子を2本抜き取る
10. モーターを外す
11. ピストルグリップのネジ2本を抜き取る
12. ピストルグリップを外す
13. マガジンキャッチのネジを緩めマガジンキャッチを取り外す
14. トリガーロックピンを取り外す
15. ボルトキャッチをメカボックスを少し浮かして取り外す (HK416の場合:メカボックスを最前進させるようにしてセレクトレバー連結パーツを取り外す)
16. セレクトレバーを【SAFE】と【SEMI】の中間位置にしてメカボックスを取り外す (HK417の場合:付属延長パーツも同様に取り外す)

【メカボックス分解編】

1. タベットプレートスプリングを抜き取る
2. ボルトストップパーツを取り外す (スプリング紛失に注意)
3. メカボックスのケースネジを取り外す (ヘックスネジに注意)
4. メカボックスケースを開く
5. タベットプレート+ノズル・シリンダー・ピストンセット→セクターギア→ベベルギア→逆転防止ラッチ (+SP)→スパーギアの順で取り外す
6. トリガーアッセンブリ→カットオフレバー→セクタープレートの順に取り外す
7. トリガーアッセンブリのネジ2本を取り外し、はんだ付けされている2本の+配線を取り外す

【NoBuNaGa取り付け編】

1. メカボックスの左側の左下配線が後方に配線が引き出せる部分の余分な金属部分をリユーターなどで切削して開口部を広げる
2. メカボックスケースをきれいに洗浄して余分な金属粉を取り除く
3. スパサー基盤をトリガーアッセンブリ取付位置の規定位置に置く
4. 本体をスパサー基盤の上に置きトリガーアッセンブリ取付ネジを流用してねじ込む (ねじ込み具合はメカボックス外側にネジが少し爪に引っ掛かるくらいねじ込む)
5. 付属のマイナス配線用の細く黒い配線の両端の被覆を剥ぐ、ハンダを両端の配線に馴染ませる
6. 本体マイナス配線取付位置に少しハンダを盛る (熱の当て過ぎに注意)、付属のマイナス配線をハンダで取り付ける
7. 取り付けた細いマイナス配線と純正のマイナス配線を取付位置に仮置き、各マイナス配線が接触する場所に油性ペンなどで純正配線に目印をつける
8. 目印を付けた箇所 (細い配線が接触する) の被覆を剥ぐ、ハンダを少し盛り付ける
9. 細い配線と純正の-配線をハンダで取り付ける (ハンダ部分に付属の黒い熱収縮チューブを取り付ける)
10. 本体+バッテリー配線取付位置、+モーター配線取付位置にハンダを少し盛る、+バッテリー配線を本体規定位置にハンダで取り付ける
11. +モーター配線を仮置きし、余分な配線を切り離す
12. +モーター配線接触部分の余分な被覆を剥がしハンダを馴染ませる、規定位置に配線を取り付ける
13. トリガースプリングの基盤接触部分に付属の透明な収縮チューブを取り付ける
14. セクタープレートも規定位置に戻す【NoBuNaGa取り付け完了】

【逆の手順で元に戻す】※カットオフレバーは使用しません。※純正S0PMOD/バッテリー使用の場合は手順通り組み込む

【LiPo7.4vバッテリー仕様編】

1. バッテリー配線をバッファークューブに引き入れたところまで来たら、+配線をハンダを使って少し延長する (バッファークューブエンド付近まで+配線を延長)

NoBuNaGa Type2

取付方法 (M4/HK416前方配線)

【メカボックスの取り外し編】

1. ストックの取り外し
2. アッパーレシーバーの取り外し (M4A1:バッテリーコネクタを取り外す/HK416C:ダミーガスチューブ、純正ヒューズケースから各種配線を取り外す)
3. アッパースペーサーを取り外しチャンバー・配線をフリーにする (アッパーストップバーセット紛失に注意)【配線はフリー状態になる】
4. ダミーボルト、チャージングハンドル、ボルトパーツの取り外す
5. バッファースプリングを緩め、バッファータッチチューブの取り外す
6. ビストルグリップエンドのネジ2本を緩め取る
7. モーター端子を2本抜き取る
8. モーターを外す
9. ビストルグリップのネジ2本を抜き取る
10. ビストルグリップを外す
11. マガジンキャッチのネジを緩めマガジンキャッチを取り外す
12. トリガーロックピンを取り外す
13. ボルトキャッチをメカボックスを少し浮かして取り外す
14. セレクトレバーを【SAFE】と【SEMI】の中間位置にしてメカボックスを取り外す

【メカボックス分解編】

1. タバレットプレートスプリングを抜き取る
2. ボルトストップパーツを取り外す (スプリング紛失に注意)
3. メカボックスのケースネジを取り外す (ヘックスネジに注意)
4. メカボックスケースを開く
5. タバレットプレート+ノズル・シリンダー・ピストンセット→セクターギア→ベベルギア→逆転防止ラッチ (+SP)→スパーギアの順で取り外す
6. トリガーアセンブリ→カットオフレバー→セクタープレートの順に取り外す
7. トリガーアセンブリのネジ2本を取り外し、はんだ付けされている2本の+配線を取り外す

【NoBuNaGa取り付け編】

1. メカボックスの右側の右下配線が前方に配線が引き出せる部分の余分な金属部分をリユーターなどで切削して開口部を広げる
2. メカボックスケースをきれいに洗浄して余分な金属粉を取り除く
3. スペーサー基盤をトリガーアセンブリ取付位置の規定位置に置く
4. 本体をスペーサー基盤の上に置きトリガーアセンブリ取付ネジを流用してねじ込む (ねじ込み具合はメカボックス外側にネジが少し爪に引っ掛かるくらいねじ込む)
5. 付属のマイナス配線用の細く黒い配線を仮置きをしメカボックスケースのグリップ情報前方の空洞になる部分を目安に配線をカットし両端の引くスクを剥ぐ
6. 本体マイナス配線取付位置に少しハンダを盛る (熱の当て過ぎに注意)、付属のマイナス配線をハンダで取り付ける
7. 取り付けた細いマイナス配線と純正のマイナス配線を取付位置に仮置き、各マイナス配線が接触する場所に油性ペンなどで純正配線に目印をつける
8. 目印を付けた箇所 (細い配線が接触する) の被覆を剥ぐ、ハンダを少し盛り付ける
9. 細い配線と純正の配線をハンダで取り付ける (ハンダ部分に付属の黒い熱収縮チューブを取り付ける)
10. 本体+バッテリー配線取付位置、+モーター配線取付位置にハンダを少し盛る
11. +バッテリー配線を少し延長し (ハンダで配線延長するなど) 本体規定位置にハンダで取り付ける
12. +モーター配線を仮置きし、余分な配線を切り離す
13. +モーター配線接触部分の余分な被覆を剥がしハンダを馴染ませる、規定位置に配線を取り付ける
14. 最後にトリガーロックピンが完了する部分に配線が被っていないかを確認
15. トリガースプリングの基盤接触部分に付属の透明な収縮チューブを取り付ける
16. セレクトレバーも規定位置に戻す【NoBuNaGa取り付け完了】

【逆の手順で元に戻す】※カットオフレバーは使用しません。

NoBuNaGa Type2

取付方法(Scar-L/H配線)

【メカボックスの取り外し編】

1. アッパーレシーバーの取り外し① スクリューホルダー後方のヘックスネジを左右共に取り外す
2. ストック取付ネジ2本を左右共に合計4本取り外し、ピカニティーレール最後方のネジ1本を取り外す(邪魔な場合は後方アイアンサイトを取り外す)【アッパーレシーバーを取り外す(その際、ボルトリターンズプリングが規定場所から正確に外す)】
3. ストックヒンジのネジ2本を取り外す【ストックを取り外す】
4. ビストルグリップエンドのネジ2本を緩め取る
5. モーター端子を2本抜き取る
6. モーターを外す
7. ビストルグリップのネジ2本を抜き取る
8. ビストルグリップを外す
9. フレームロックピンを取り外す
10. セレクターレバーを【SAFE】の位置にしてメカボックスを取り外す(セレクターレバーの破損に注意)
11. ボルトキャッチをメカボックスを少し浮かして取り外す(Scar-Hの場合は延長パーツも取り外す)

【メカボックス分解編】

1. タバットプレートスプリングを抜き取る
2. ボルトストップパーツを取り外す(スプリング紛失に注意)
3. メカボックスと配線を固定するパーツを解除する
4. メカボックスのケースネジを取り外す(ヘックスネジに注意)
5. メカボックスケースを開く
6. タバットプレート+ノズル・シリンダー・ピストンセット→セクターギア→ベベルギア→逆転防止ラッチ(+SP)→スパーギアの順で取り外す
7. トリガーアセンブリ→カットオフレバー→セレクタープレートの順に取り外す
8. トリガーアセンブリのネジ2本を取り外し、はんだ付けされている2本の+配線を取り外す

【NoBuNaGa取り付け編】

1. メカボックスの右側の右下配線が前方に配線が引き出せる部分の余分な金属部分をリユーターなどで切削して開口部を広げる
2. メカボックスケースをきれいに洗浄して余分な金属粉を取り除く
3. スペーサー基盤をトリガーアセンブリ取付位置の規定位置に置く
4. 本体をスペーサー基盤の上に置きトリガーアセンブリ取付ネジを流用してねじ込む(ねじ込み具合はメカボックス外側にネジが少し爪に引っ掛かるくらいねじ込む)
5. 付属のマイナス配線用の細く黒い配線を仮置きをしメカボックスケースのグリップ情報前方の空洞になる部分を目安に配線をカットし両端の引くスクを剥ぐ
6. 本体マイナス配線取付位置に少しハンダを盛る(熱の当て過ぎに注意)、付属のマイナス配線をハンダで取り付ける
7. 取り付けた細いマイナス配線と純正のマイナス配線を取付位置に仮置き、各マイナス配線が接触する場所に油性ペンなどで純正配線に目印をつける
8. 目印を付けた箇所(細い配線が接触する)の被覆を剥ぐ、ハンダを少し盛り付ける
9. 細い配線と純正の配線をハンダで取り付ける(ハンダ部分に付属の黒い熱収縮チューブを取り付ける)
10. 本体+バッテリー配線取付位置、+モーター配線取付位置にハンダを少し盛る
11. +バッテリー配線を少し延長し(ハンダで配線延長するなど)本体規定位置にハンダで取り付ける
12. +モーター配線を仮置きし、余分な配線を切り離す
13. +モーター配線接触部分の余分な被覆を剥がしハンダを馴染ませる、規定位置に配線を取り付ける
14. トリガースプリングの基盤接触部分に付属の透明な収縮チューブを取り付ける
15. セレクタープレートのSAFE側の端子接触部分を全体の1/3程度切削する
16. セレクタープレートを規定位置に戻す【NoBuNaGa取り付け完了】

【逆の手順で元に戻す】※カットオフレバーは使用しません。 ※ボルトリターンズプリングを規定場所に正確に戻す。